

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第42期第1四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
【会社名】	株式会社アルペン
【英訳名】	Alpen Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 水野 泰三
【本店の所在の場所】	名古屋市中区丸の内二丁目9番40号
【電話番号】	052 - 559 - 0125
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 水巻 泰彦
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区丸の内二丁目9番40号 アルペン丸の内タワー
【電話番号】	052 - 559 - 0125
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 水巻 泰彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第1四半期連結 累計期間	第42期 第1四半期連結 累計期間	第41期
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成24年7月1日 至平成25年6月30日
売上高(百万円)	47,118	49,383	203,724
経常利益(百万円)	2,694	1,250	13,404
四半期(当期)純利益(百万円)	1,231	365	6,629
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,197	458	6,843
純資産額(百万円)	100,368	104,853	105,204
総資産額(百万円)	163,738	171,369	174,895
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	30.42	9.02	163.75
自己資本比率(%)	61.3	61.2	60.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとする各種経済政策を背景に企業業績に改善傾向がみられるとともに、消費者マインドも底堅く推移するものの、円安の影響による輸入資材の価格上昇や海外景気の下振れリスクなどにより、景気の先行きは不透明な状態が続いております。

スポーツ・レジャー用品業界におきましては、富士山の世界遺産登録によるアウトドア市場への関心の高まりや、2020年の東京オリンピックの開催決定など明るい話題がみられました。

このような状況のもと、当社グループは、より多くの皆様がスポーツを楽しんでいただけるよう、低価格で高品質なプライベートブランド商品の開発や、品揃え豊富で選びやすい売場作りを推進するとともに、ランニングシューズの試し履き即売会やゴルフクラブの試打会、スキーフェスタなどのイベントを積極的に開催してまいりました。

主な商品部門別の概要としましては、ゴルフ用品につきましては、ゴルフの初心者から上級者まで、自分のスイングタイプにあったクラブフィッティングを推進することでお客様の満足度と成約率を高めてまいりました。また、猛暑対策グッズを充実させるとともに人気商品の品揃えを増やすなど、お客様ニーズにあった売場作りや、市場調査に基づいたお値打ち感のある価格政策をすすめたことなどにより、好調に推移いたしました。

一般スポーツ用品につきましては、富士山の世界遺産登録の影響などによりアウトドアへの関心が高まった結果、トレッキング、アウトドアレジャー商品が広く売上を伸ばしました。また、全国的に早い梅雨明けや猛暑の影響を受けて、マリナグッズ、マリナウェアが好調に推移いたしました。一方で、秋口の天候不順が秋物衣料の立ち上がりに影響したこと、各種専門競技志向の高まりにより汎用性の高いジャージ類が不振であったことなどにより、一般衣料は低調に推移いたしました。

利益面につきましては、前期からの出店の増加等により、販売費及び一般管理費が増加したことに加えて、ゴルフクラブの価格競争が進んだ結果、売上総利益率が悪化したことにより営業利益、経常利益ともに減益となりました。

店舗の出退店の状況につきましては、「アルペン」1店舗、「ゴルフ5」1店舗、「スポーツデポ」1店舗を出店し、「ゴルフ5」1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は「アルペン」83店舗、「ゴルフ5」191店舗、「スポーツデポ」115店舗の計389店舗となり、売場面積は1,526坪増加し224,094坪となりました。2013年6月にオープンした海外（中国）の2店舗を合わせ、当社グループの合計店舗数は、391店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は49,383百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益912百万円（同61.1%減）、経常利益1,250百万円（同53.6%減）、四半期純利益365百万円（同70.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,526百万円減少し、171,369百万円となりました。

主な要因は、商品及び製品が増加した一方、現金及び預金および受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,175百万円減少し、66,515百万円となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金および設備支払手形が増加した一方、未払金および未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産は、主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ350百万円減少し、104,853百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	125,000,000
計	125,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	40,488,000	40,488,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数100株
計	40,488,000	40,488,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年7月1 日~ 平成25年9月30日	-	40,488,000	-	15,163	-	25,074

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 500	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 40,483,800	404,838	-
単元未満株式	普通株式 3,700	-	-
発行済株式総数	40,488,000	-	-
総株主の議決権	-	404,838	-

（注）単元未満株式の株式数の欄には、自己株式50株を含めて記載しております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社アルペン	名古屋市中区丸の内二丁目9番40号	500	-	500	0.00
計	-	500	-	500	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,433	14,495
受取手形及び売掛金	5,860	3,808
有価証券	3,000	3,000
商品及び製品	47,978	56,254
その他	4,967	5,476
貸倒引当金	9	9
流動資産合計	88,229	83,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,759	65,416
減価償却累計額	35,994	36,703
建物及び構築物(純額)	28,764	28,713
その他	30,852	31,752
減価償却累計額	9,906	10,394
その他(純額)	20,945	21,357
有形固定資産合計	49,710	50,070
無形固定資産	947	934
投資その他の資産		
差入保証金	21,048	20,955
その他	17,565	18,973
減価償却累計額	2,431	2,417
その他(純額)	15,133	16,556
貸倒引当金	174	172
投資その他の資産合計	36,008	37,339
固定資産合計	86,665	88,344
資産合計	174,895	171,369

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,084	36,009
引当金	1,666	2,324
その他	21,215	16,479
流動負債合計	57,966	54,813
固定負債		
引当金	1,784	1,806
その他	9,939	9,895
固定負債合計	11,724	11,701
負債合計	69,691	66,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,163	15,163
資本剰余金	21,663	21,663
利益剰余金	68,303	67,859
自己株式	0	0
株主資本合計	105,129	104,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	42
繰延ヘッジ損益	40	19
為替換算調整勘定	5	106
その他の包括利益累計額合計	74	168
純資産合計	105,204	104,853
負債純資産合計	174,895	171,369

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	47,118	49,383
売上原価	26,168	28,709
売上総利益	20,950	20,674
販売費及び一般管理費	18,604	19,762
営業利益	2,346	912
営業外収益		
不動産賃貸料	189	199
その他	298	288
営業外収益合計	488	487
営業外費用		
支払利息	34	37
不動産賃貸費用	90	103
その他	14	8
営業外費用合計	139	149
経常利益	2,694	1,250
特別利益		
固定資産売却益	1	1
預り保証金償還益	1	1
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除売却損	7	2
減損損失	27	1
特別損失合計	35	3
税金等調整前四半期純利益	2,662	1,248
法人税、住民税及び事業税	1,430	883
少数株主損益調整前四半期純利益	1,231	365
四半期純利益	1,231	365

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,231	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	3
繰延ヘッジ損益	13	21
為替換算調整勘定	21	111
その他の包括利益合計	33	93
四半期包括利益	1,197	458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,197	458
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

重要な変更はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
支払手形及び買掛金	744百万円	- 百万円
流動負債		
その他(設備関係支払手形)	36	-
計	780	-

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
減価償却費	1,249百万円	1,386百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月27日 取締役会	普通株式	809	20	平成24年6月30日	平成24年9月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月27日 取締役会	普通株式	809	20	平成25年6月30日	平成25年9月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、スポーツ関連商品の小売事業以外の重要なセグメントはありませんので、セグメント情報の記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	30円42銭	9円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	1,231	365
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,231	365
普通株式の期中平均株式数(千株)	40,487	40,487

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年8月27日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額 809百万円
(ロ) 1株当たりの金額 20円00銭
(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 平成25年9月12日

(注) 平成25年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社アルペン

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮本 正司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 豊田 裕一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アルペンの平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アルペン及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。